

DFWC回顧録 DFWC 前会長 石井勝巳	DFWCと石井さんのこと DFWCメンバー 森 和樹	DFWCの将来像 DFWC代表幹事 菅原信夫	ワインノート 鎌田さん作成ワイン ノートは こちら
-----------------------------	----------------------------------	------------------------------	---

DFWC NEWS

2025 Wine Club Journal #5



【表紙の言葉】

2025年第2回DFWC夏の例会が6月12日ホテル椿山荘東京にて開催されました。 午後6時、参加者30名が注目する中、これまでの会とは一味違う「シャンパーニュ」尽くしの会が始まりました。今回シャンパーニュで会を盛り上げることにしたのは、当例会で石井会長がそのお役目を終えられるためでもあります。今回もワインセレクションは鎌田さんが担当、苦労して選んだ数々のシャンパーニュが集まりました。そして宴も盛り上がったところで、石井会長よりご挨拶がありました。本号では改めて石井さんのDFWC回顧録を掲載、またDFWC誕生の頃からのメンバーである森さんからは挨拶文を頂戴しました。DFWCの歴史がわかる保存版DFWC Newsとしてお楽しみください。（編集部）

DFWC回顧録： DFワイン同好会(DFWC)を振返って

DFWC前会長 石井勝巳

この度6月30日を以てDFWC代表幹事を退任することになった。

DFWC発足以来、幹事及び代表幹事として足掛け20年有余に亘り運営に関わってきたが、これも偏に関係者皆々様のご支援とご協力の賜物と深く感謝する次第である。

これを機にDFWCの歩みを回顧してみたい。

DFWCは数多くのDF同好会の中でも最も古い歴史を誇るといえる。

2005年頃、中興の祖ともいえる七里淳哲氏(サントリー出身)及び戸成了晟氏(クラリオン出身)が同好会を組織しようと発議した。これに賛同した河島、濱本、藤崎、石井各氏を含めて幹事団を結成、立ち上げに先立つ勉強会を七里さん講師の下行った(2005年6月27日)。そして、第一回例会をNHK青山荘を舞台に立ち上げ、「ロスチャイルド男爵家のワイン達」と題してボルドーワインを取り挙げた(添付

ワインリスト参照方)。

それ以降3カ月毎の頻度にて、様々な企画に工夫を凝らして例会を常々と重ねてきた。

中には”Excursion”と称して、山梨、長野、栃木各県のワイナリーを見学する小旅行を行ったことも懐かしい記憶に残る。

Directforce Wine Club 第1回例会

2006.01.31 NHK青山荘

(市又へ新規着付)

～ロスチャイルド男爵家のワイン達～ (アガベ～池内)

Carte de Vin

①*R&R Rieussec 2000 Bordeaux* SE/SB/MU (*2700)
(エル”ド リューセック)

シャトー・リューセックの辛口ワイン。貴腐葡萄の収穫前に早めに摘み取った20%の葡萄から醸す。数ヶ月間の樽熟成も行われ、個性豊な持ち味を出す。

②*Domaines Baron de Rothschild Bordeaux Réserve Spéciale 2000*
(ドメーヌ・バロン・ド・ロシルト ボルドー レゼルヴ・スペシャル) CS/MCF (*1750)
カベルネ・ソーヴィニヨン種ならではの品のある香が漂い、ブラックチェリーと思わせる色濃い果実味が口の中に心地よく広がる。

③*Moulin du Duhart 2000 Pauillac* CS 65M 30/CF 5 (*3700)
(ムーラン・ド・ドゥアル)

パドックのグラングル第4級シャトー・デュアル・ミロンのセカンドラベル。樽熟期間はシャトーとの上同じ18ヶ月間だが、新樽使用比率を30%に抑えている。心地よい樽香と穏やかなタンニンを持ちバランスの良さを楽しめる。

④*Château Rieussec 2000 Sauternes* SE 90/SB 7/MU 3 (*9500)
(シャトー・リューセック) 在庫うきを取らじゆく
古くから高く評価されてきた貴腐ワインで、蜂蜜をかけたような甘酸と、ほんんどローストされたと言つてもいい芳醇さと香ばしい樽香とのバランスが絶妙。新樽で18～24ヶ月熟成、年間60,000本生産。(バーカー・ソーテルヌの正当なスーパースター)

~~~~~

*Vins des Domaines Baron de Rothschild: Le Baron Eric de Rothschild*  
*Château Lafite-Rothschild Pauillac Médoc Premier Cru Classé (1868)*  
*Sous Marque: Carruades de Lafite Rothschild (カリュアード ド ラフィット)*

*Château Duhart-Milon Pauillac 4ème Cru Classé (1962)*  
*Château Rieussec Sauternes 1er Cru Classé (1984)*  
*Vina Los Vascos(Chili) (1988)*

*Participation dans le groupe Chalone Californie (1989)*  
*Château L'Evangile Pomerol (1990) (レヴァンジル ポメロール)*  
*Quinta do Carmo(Portugal) (1992)*

*Développement des Réserves et Cuvées (1993)*  
*Rocca Prassanello(Toscane, Italie) (2002)*

CS: カベルネソーヴィニヨン、CF: カベルネフラン M: メルロー、  
SE: セミヨン、SB: ソーヴィニヨンブラン MU: ミックスカデ

DFWC中興の最大の貢献者は何といっても七里淳哲氏である。

同氏はサントリーワイン事業部長・取締役を歴任、傑出したワインの専門家でDFWCの運営には終始リード役を務めて頂いたがDF事務局長(当時)と運営を巡る確執がもとでDFを退会、その後惜しくも世を去った。

同氏が買収を手掛けたボルドー有数のワイナリー”Chateau Lagrange”を紹介され15年前に訪れたことがある。同ワイナリーのブドウ畑は乾燥した石ころだらけ、建物は中世のシャトー風、庭園には白鳥が群れる湖水などが今でも強く印象に残る(画像を参考方)。

七里氏の知人として紹介された大久保忠明氏もDFWCに多大なる貢献を頂いた方として永く記憶に残る。同氏はDF非会員だが、ゲスト参加の常連として例会の開催及び知友の集客に一方ならず協力頂いた。

椿山荘関係者多数と深い人脉を有し、関澤社長(当時)とは同氏の仲介で七里淳哲氏、森和樹氏及び小生を交えて会食する機会を得たこともある。

最近、例会の開催場所として椿山荘はすっかり定着した。これも偏に椿山荘開拓のパイオニアとしての大久保忠明氏のお陰であり末永く銘記したい。

また、大久保氏及び七里氏と深い交友関係にあった森和樹氏の存在も大切にしたい。同氏はDF非会員だが傑出したワイン通であり、ワイン道について深く熏陶を受けた。今でも例会にはゲストとして常連参加頂いているのは感謝に堪えない。

かくして、DFWC発足時の幹事は早々に悉く去り、その後小生のみ孤軍奮闘して運営に当たってきたかの感があるが、菅原さんを代表幹事とする新体制が間もなく発足する運びになる。

人が変わればやり方も変わるのが世の中の常である。

永い歴史のあるDFWCのレガシーを礎に、今後は新機軸を打ち出して「新生DFWC」が順風満帆に船出することを只管念じて代表幹事退任のご挨拶と致したい。

(石井勝巳)



## DFWCと石井さん

DFWCメンバー 森 和樹

サントリーの七里様に誘われてDFWCに初めて参加させていただいたのは今から約20年前ぐらいでした。

七里様とは私がヨーロッパに駐在していた際にサントリーのワインの海上輸送を任せさせていただいたことでしたが、日本の輸入に際して成分表が必要でありロットが大きければ生産側で対応するが小さい場合には苦労されるということでドイツとフランスのワインを一旦オランダに陸上輸送して成分表を貼り付け段ボールに詰めたり高級ワインには木の箱に詰めるなど再梱包をして日本まで海上輸送するという仕事を通してお世話になっておりました。

DFWCは初めの頃はサントリーの経営する丸の内レストランや六本木、原宿、汐留、東大前のレストランなどで開催されワインと料理を楽しむ会食に加えて各自持ち寄りのワインの飲み比べ、ブラインド・テイスティングやサントリーの登美の丘ワイナリーなどへのアウティングなどどちらかというとカジュアルな催しも多かった記憶があります。

しかしながらワインの選択や料理の質そしてメンバーの方々などDFメンバー外の人間を暖かく受け入れてくださる雰囲気に惹かれて今日まで参加させていただき感謝しております。

石井様の時代になりますと、それまでに比べて料理やチーズにも気を使われ、またワイングラスやサービス・マナーの質などにも考慮をされて会場設定にご苦労されていたと思います。これはミシェランの星付きのレストランが多いベルギーに長く駐在されていた石井様の経験からかなと推測します。

勿論、石井様はワインに対する思いと造詣が深く毎回のワインの選択は楽しみでした、特にフランスとイタリアワインの選択は素晴らしい堪能させていただきました。

DFWCを離れましても、大久保様と一緒に石井様のお宅に伺いベルギー、イタリア、アルザス、ボルドーのお橋をお聞きしたりお庭や畠をご案内いただいたり大変お世話になりました。

長い間会場設定、ワインの選択や手配、料理選定などの事前準備に加え当日のワインの解説などで大変ご苦労をなさったでしょうが、今後はのんびりとワインと料理をお楽しみください。

(森 和樹)

## DFWCの将来像

### DFWC代表幹事 菅原信夫

石井さんからそろそろ代表を交代しないか、というお話を聞いたのはちょうど1年ほど前のことです。DFWCの規模も拡大し、DFの中でも参加者規模や資金の流れで言えば一、二を競うほどの会になりました。しかし同好会組織として見ると私が幹事団の代表として運営にあたった「映愛会（映画同好会）」に比べるとDFWCは仲良し集団の域を出ていませんでしたので、代表交代まで1年の猶予をいただき、その間に組織上の整備をさせていただくことを石井さんにお願いしました。そしてあっという間に過ぎ去った1年間でしたが、①会員名簿の整理 ②会則の策定 ③会名義での銀行口座の開設 ④新幹事団の組成と会計監事の設定 といった作業を終えることができました。

ワイン文化には伊藤忠勤務時からかなり接近していましたが、本格的に取り組むようになったのは父が経営していた老舗の酒類卸業「日比野」を継承してからです。ワインの味を知ることはもちろん、そのワインを生み出す周辺の基礎知識は銀座3丁目に開いたワインバー「HIBINO 1882」に集まるワイン通の方々との交流を通して学ぶことができました。その後、私のもう一つのビジネスであるビジネスコンサルティングに勢いが出てきて、私はモスクワに設立した会社にほとんどへばり付きとなりました。ワインバーを閉店しサントリーのロシアにおける事業展開のお手伝いをしているうちにロシア・ウクライナ国境がきな臭くなり、ロシア事業は撤収、家族と共に完全帰国しました。そして2018年でしたか、大学の先輩であるDF理事の平井隆一さんにDFを紹介されて入会しました。2020年から始まったコロナ禍では、ワイン例会もままならず、もっぱらZOOMでのワイン談義で会員の皆さんとDFWCを細々と守り抜いたという思い出があります。

今回の交代では石井さんがセカンドギアで登坂してこられた緩やかな丘を登りきり、私は幹事団の皆さんと一緒にサードギアであまり力を入れずにDFWCという車を転がす、というイメージを持っています。DF会員が気軽に参加できて、毎回少しづつワイン知識を増やして行けるような楽しい各種イベント、そして2、3年後にはまた次の代表に気軽に交代してもらえるような運営上の簡素化を図ってゆきたいと思っています。ワインの良さは、楽しむ機会の周辺にあります。場所や食事、同好会活動の中身など大事ですが、何より強調したいのは一緒に楽しむ仲間の繋がりです。時に石井さんはご自宅を開放されて、ワイン仲間に素晴らしいひと時を提供されてきました。私にはなかなか真似のできないことですが、努力してゆきたいと思います。皆様のご支援と活動へのご参加を心からお願い申し上げます。

(菅原)

## 例会の記録

日時：2025年6月12日（木）18時～21時

参加者：30名

テーマ：「シャンパーニュと酒精強化ワインの競演」

ワインリストとテイスティングノート（鎌田担当幹事作成）

[→こちらから](#)

料理メニューとワイン対比表（椿山荘提供）

[→こちらから](#)



牛ロースのロースト、ハツトマトソース



夏野菜のテリーヌ



## DFWCのご紹介

\* DFWCでは年間4回、椿山荘をはじめとする一流ヴェニューにてワイン会を開いています。料理は主にフランス料理とイタリア料理、これにDFWC幹事が選び抜いた世界各地の銘醸ワインを合わせ、極上のひと時をDFメンバーはじめとするワインラヴァーとともに楽しめます。

\* ワインの知識を持つ方、全くの初心者の方、どなたにも楽しく充実した時間が約束されます。担当幹事のワインにまつわる話、レストラン側シェフの料理の話、そして参加メンバーの一言スピーチ。また、開宴前にはアペリティフタイムと称して、立式で参加者同士の会話が弾みます。

\* こんなワイン会に興味を持たれた方はぜひ一度ご参加ください。一度が二度となること請け合いです。次回は次ページのチラシの通り、9月18日を予定しています。定員20名ですので、早めにお申し込みをお願いいたします。

\* ワイン会の詳細、DFWCへのご質問など、ご遠慮なく代表幹事の菅原信夫までメールにてお寄せください。[sugahara@directforce.org](mailto:sugahara@directforce.org)

## 次回例会（ワイン会）のお知らせ

# DFWC 秋の例会 2025/09/18 (木) 17時30分開宴

＠ホテル椿山荘東京・ポプラーム



DF会員はどなたでも参加いただけます  
友人の輪を広げましょう

主催/ディレクトフォースワインクラブ (DFWC)

参加費/15,000円

参加定員/20名

お申し込み/右側QRコード「伝助」に記入ください。



お申し込み期限：9月4日

参加費支払い期限：9月11日

キャンセルポリシー：9月11日以降のキャンセルには100%  
チャージが適用されます。

担当幹事：菅原信夫 [sugahara@ballade.plala.or.jp](mailto:sugahara@ballade.plala.or.jp)

## DFWC News 第5号 2025年7月20日発行

発行者 © DFワインクラブ (DFWC) 事務局

編集者 菅原信夫

連絡先 [sugahara@directforce.org](mailto:sugahara@directforce.org)